

経営比較分析表（令和4年度決算）

鳥根県 大田市

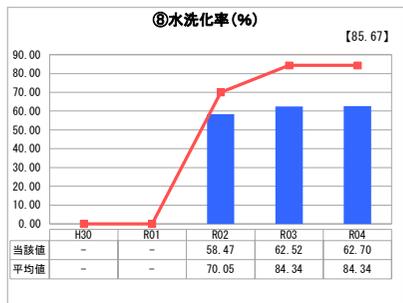
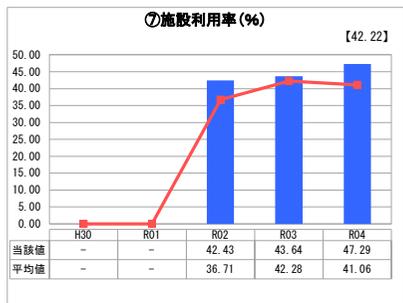
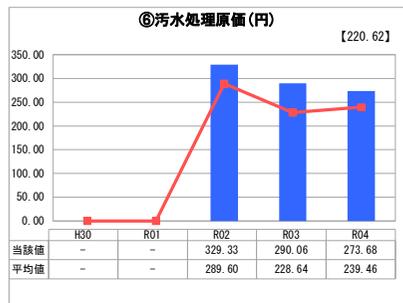
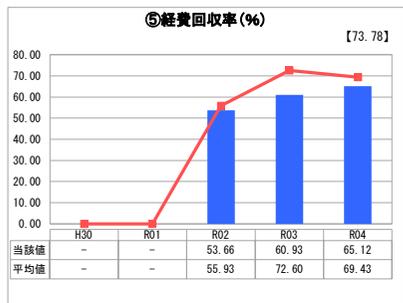
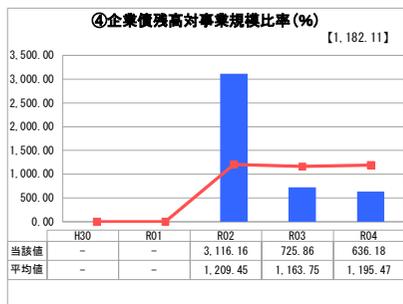
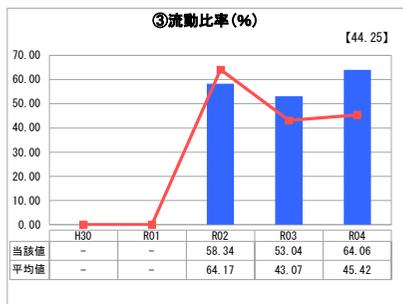
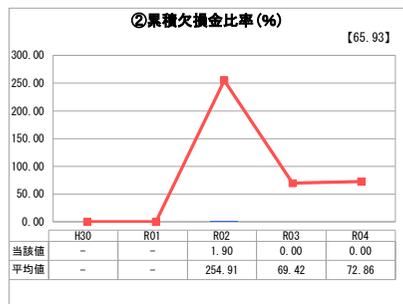
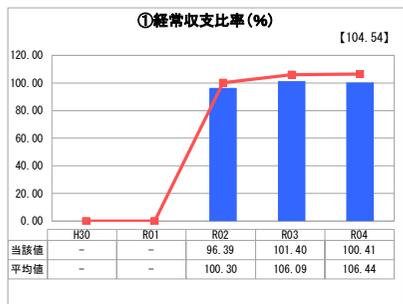
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	58.62	9.88	99.38	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,773	435.34	75.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,212	1.13	2,842.48

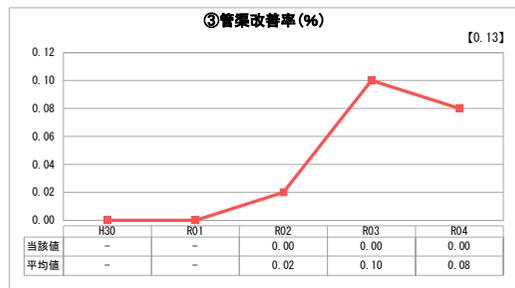
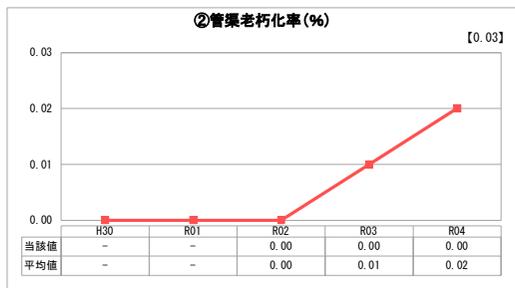
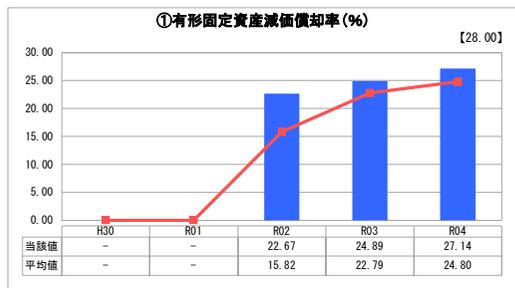
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率**
令和4年度は、経常収益が経常費用をわずかに上回り100%を超えた。100%を上回っているものの、経常収益の大部分は他会計補助金などの営業外収益である。
- ② 累積欠損比率**
欠損金はなく、0%である。0%を維持できるように引き続き健全な経営に努めたい。
- ③ 流動比率**
昨年度より改善したものの、年度末の未払金が多く、資金に余裕がない状況が続いている。他会計補助金を分割して交付してもらったり、一時的に資金を借入したりして、運転資金を確保している。
- ④ 企業債残高対事業規模比率**
令和2年度末で整備が完了したため、令和3年度より大きく改善している。今後も企業債残高の減少に伴い、数値が改善していくものと思われる。
- ⑤ 経費回収率**、**⑥ 汚水処理原価**、**⑦ 施設利用率**
下水道への接続の増加とともに使用料、有収水量も増えており、昨年度に比べ、経費回収率、原価ともに改善した。また、施設利用率については、平均処理水量が増加し、類似団体平均を上回っている。

- ⑧ 水洗化率**
下水道への接続が進んだことで水洗化率が上昇しているが、依然として類似団体平均と大きく乖離している。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率**
管路については法定耐用年数50年のため、減価償却はまだ進んでいないが、処理場施設内の機械設備等は法定耐用年数を超えていなくても更新するものが出始めており、今後、計画的に更新していく必要がある。
- ② 管渠老朽化率**、**③ 管渠改善率**
令和4年度末現在、供用開始から14年を経過している。現在のところ、法定耐用年数50年を経過した管渠はないため、更新の必要性は低い。

全体総括

当事業は供用開始後14年が経過している。令和2年度から地方公営企業法による会計処理に移行し、令和2年度末をもって整備を終了したところである。令和3年度に策定した経営戦略に基づき、接続率の向上や経費節減など、引き続き、経営基盤の強化に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。